



村山康文写真展

戦争と平和

—ベトナムから日本を見つめる—

2014年10月27日（月）～11月2日（日）

9時～17時（11月1日・2日は11時～17時）

茨城大学水戸キャンパス 図書館展示室

※10月29日（水）17時から村山さんによるトークがあります。事前申し込み不要で入場無料（写真展ともに）。コメンテーターは人文学部教授の蓮井誠一郎さん（国際政治学／平和学）

1975年4月30日の「サイゴン解放」から来年で40年。しかし「ベトナム戦争」はいまだに終わっていないと言われます。戦争は最大の環境破壊であり、サステナビリティ（社会の持続可能性）の脅威そのものでもあります。世界では紛争がなお頻発しています。これを機に、戦争とは何か、平和とは何かを一緒に考えてみませんか。（ICAS機関長／人文学部教授 伊藤哲司）

【お問い合わせ先】
展示内容について
029-228-8787（ICAS）
展示会場について
029-228-8076（図書館）



主催 茨城大学地球変動
適応科学研究機関

村山康文氏（フォトジャーナリスト）

1968年兵庫県生まれ。主にベトナムの社会問題を追いつける。弱者を守る立場からエイズ・戦争・人権・差別などをテーマに各地で写真展や講演会を開催。2007年と2009年にベトナム文化情報省から表彰を受けた。2014年7月、西沙諸島（英名：スプラトリー諸島）に接近し、中国が設置した石油リグの写真を撮影。その後、ホーチミン市のVOV大学で写真展『ホアンサへの想い』を開催した。京都在住。



公共の交通機関でお越しください。水戸駅北口からバスで約20分「茨大前」下車すぐ。